

桜ヶ丘総合センターだより



2023 秋号
Autumn

住所：大淀町下湊1223 (☎) 0747-52-5402

『オレンジガーデニングプロジェクト』をご存じでしょうか？

「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色の花を咲かせる活動が全国各地で行われています。この活動が、「オレンジガーデニングプロジェクト」です。

(大淀町役場職員と大淀町社会福祉協議会職員が花を植えてくださいました。)

6月
(植え付け時)



7月中旬



8月上旬



大淀町役場職員と大淀町社会福祉協議会職員が、毎日水やりを行って下さり立派に咲いています。ありがとうございます。

大淀町も賛同して取り組んでいます。



9月は「世界アルツハイマー月間」です

オレンジ色は認知症のシンボルカラーです。

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。

1994年(平成6年)、スコットランドのエディンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、開催10周年を祝い会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と国際アルツハイマー病協会(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で制定し宣言しました。

全国各地で、「世界アルツハイマーデー」に合わせてオレンジライトアップが実施されています。

なぜ、オレンジ色？

江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門さんが夕日に映える柿の色を表現して作られた、赤絵磁器が海外に輸出されて高い評価を受けました。この赤絵磁器の柿色のように、『認知度・啓発』が日本から世界へ広く知れ渡ることを願って、オレンジ色が認知症のシンボルカラーになりました。

マリーゴールドについて

和名：マンジュギク(アフリカン種)
：クジャクソウ(フレンチ種)
分類：キク科タゲテス属一年草

マリーゴールドは英(イギリス)名で、聖母マリア(バージンマリー)に由来し、属名タゲテスは美の女神タゲスに由来します。

9月関連の「今日は何の日」

第9回 9月26日 『核兵器の全面的廃絶のための国際デー』

◇ 2013年（平成25年）12月の国連総会で制定されました。

【目的】

- 核兵器が人類に及ぼす脅威と、核兵器の全面的廃絶の必要性に関する社会の認識を高め、教育を充実させること。
- 国際デーを記念することで、これらをより普及・促進させること。

1945年（昭和20年）8月に日本の広島と長崎に2つの原子力爆弾が投下され、多くの方が亡くなりました。翌1946年（昭和21年）の国連総会で核軍縮を国連の主要な目標とすることが決議されました。

2009年（平成21年）12月の国連総会では、8月29日を「核実験に反対する国際デー」(International Day Against Nuclear Tests) に制定されていて、人々の意識を高め、核兵器を削減・撤廃へのより一層の関心・関与を求めるためにこの国際デーが制定されました。

ちなみに、核兵器を保有している国が9カ国もあります。

[アメリカ・ロシア・フランス・イギリス・中国・インド・パキスタン・イスラエル・北朝鮮]

上記の9カ国のうち、アメリカ・ロシア・フランス・イギリス・中国を核兵器国に規定し、それ以外の「非核兵器国」は核兵器を受領、製造、取得などを行わないことを約束する核不拡散条約（NPT）が1968年（昭和43年）に国連総会で採択されました。また、核保有国の核軍縮が一向に進まないことから、核兵器の開発や使用などを禁止する核兵器禁止条約が成立しました。核兵器禁止条約は2017年（平成29年）7月、国連総会で採択されました。核兵器の製造や保有、使用に加え、その援助や使用すると威嚇も禁止する初めての国際条約です。

ただし、アメリカ・ロシア・中国などの核保有国とアメリカの核の傘のもとにある日本やNATO（北大西洋条約機構）の国々は核兵器禁止条約に参加していないようです。

「福田村事件」をご存じでしょうか

7月の朝のニュース番組で、映画「福田村事件」の特集を偶然目にしました。

1923年（大正12年）9月6日に千葉県福東葛飾郡福田村（現在の野田市）で、薬売りの行商団9人が殺害された、実際に起こった虐殺事件です。この5日前、関東大震災が発生しています。「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などのデマが飛び交っていました。また、薬売りの行商団は香川県から訪れ、方言もあって言葉が通じなかったため、朝鮮人と疑われてしまったようです。そのため、殺害されるという事件に至ったようです。この背景には、関東大震災が起こり人々がパニック状態だったこと、それにデマや職業差別、そして朝鮮人に対する民族的な差別があったようです。

この映画が、9月に公開するようなので、私はこの映画を鑑賞してみたいと思っています。

また今、日本や世界各地で自然災害が多く発生しています。7月初めには九州地方で発生した線状降水帯により、大雨で土砂災害も起こり避難されている方も多くいます。過去には、阪神淡路大震災や東日本大震災が起こり避難された大勢の人がいます。避難された方々が差別や偏見の目で見られたという事も後になって知りました。なぜ、災害時にはデマが生まれ拡散し、差別に繋がっていくのでしょうか。主な要因は「不安」、「怒り」、「善意」の3つに分類されます。それに加えSNSの普及で拡散する速度が速くなったそうです。しかし、『流言は智者に止まる』という格言もあります。わからない情報は鵜呑みにしない、拡散しないことだと思います。今なお避難されている方々が差別されることのないように願います。

